夏釣りを訪ねて

涼味満点のウナギ

▼…魚釣りは戦後急激に普及したといってよいほど広まっている。これは食糧事情や戦時中に…▲
▼…蛔ほしをしないことなどで魚が多かったためだそうだ。最近の傾向としては婦人の魚釣りが…▲
▼…目立って増えたそうで、ようやく健全な娯楽としての面が認されるようになったのだろう。▲
▼…魚釣りといえば気長な人の道楽のように思っていたが、これがなんと気短い人が多いそうで…▲
▼…それ故炭鉱マンには大変愛好されているそうだ。それで今回は釣の権威者として著名な松屋…▲
▼…裏の上野釣具店主上野実さん(上野釣人)に夏釣りを伺うことにした。…▲

一度引出した穴には別のが

大体夏もいま頃はもっとも釣の時期に悪く浮釣りだと非常に条件が悪いそうだ、だから夏の人気者ウナギとりの話を伺おう。

○…最近ウナギの穴釣りする人が急に多くなってきたのは、浮釣りの不調のためではなかろうか。穴釣りのコツは深いところで下半身位水に入ってウナギのいそうな穴を手や足で探すたのしさは涼気と色気があって格別。一度引出した穴にはまた別のウナギが必ず入る。

山間地方の小川なら入水しても膝まで位の深さだから行動しやすいが、矢部川や菊池川の如く大川になると深いところは水中眼鏡をかけて潜り穴釣りしている人もあるが大低息が続かなくて、折角かけた獲物をよく逃がしている。

騒がしい所はウナギも嫌い

穴釣りに最適の深さは膝までぐらい、深くてせいぜい腰まで位入水して手や足で石垣の穴で釣する涼味はまさに百%の魚釣りといえよう。

穴釣り専用の三尺竿に柔軟性のある鯨骨をつけてあるのは穴の中でウナギが横からくいつく場合に折られる危険を防ぐためで、専用の針には今頃では山ミミズ、ドジョウ、白エビを刺す。白エビの場合は尻尾を切って頭の方に針を刺す騒々しいところはウナギも嫌いとみえて水深のある底穴の奥に入っているようだが、静かな場所の石垣なら大概睡眠しに一、二寸の穴に入っているからこれが釣り良いウナギは視力より臭覚が非常に敏感であるから餌の匂いが下へ流れるとウナギが顔を出して餌を探している姿をよくみることがある。

川上から下へ

それで菊池川、矢部川、渡瀬の楠田、飯江川などの如く流れ川の穴釣り、浮釣りの場合は川上から釣下る釣師を玄人、川下から上に上る人を素人とこの道の通人はいっている。諏訪川、中島川の如き潮川は浮釣り同様潮の引きがねらいどきである。穴の奥に入っていた奴が穴口に出て来ているので、大変つきがよいわけである。

ウナギのいそうな穴をみつけたなら、針先を下向げて逐次々々奥へ入れることが大切、ぐっと引込んだときはウナギで、ガサガサしたときはカニ。

餌のついた針先を下向けして持って行くと、ウナギが口一杯開けてくいつくから強い下アゴにかかるので相手が女子供でも楽に引出せる。しかし弱い口横に引っかけると、肉が切れて外すことがよくあるから針の合せによく注意がいる

コツは無心になること

数回当ってもかからぬ場合は、十匁目級以下の小ウナギと思ってよい。そんなときにはくいつきやすいように針先を横向けて入れてやる。浮釣りの場合に釣落したウナギは、すぐまた後くいつくが、穴から引出して逃げ出したウナギは絶対に餌つきせぬから不思議である。針をのんでいる右手にはいくら力入れてもよいがウナギの腹を強く握りしめぬことが大切。臓腑を締切らぬように下半身をユックリ握って素早く用意のタブの中にほうりこめばよい。

こうして釣り上げたウナギの保存は、水につけて穴をぬいつけ、わらを小さく刻んでカゴの中に入れると弱らないで生きている。穴釣りの外道としてドンコ、ナマズ、ツガネがよくとれる。穴釣りの場合に限らず釣は無心に釣ることが何より大切だ。

釣だより

テンプラに甘いハゼ

○…こう雨が降らないと「いい雨だね」とぬれながら釣ってみたくなるこのごろだ。殺倉地帯の堀割は干天にもかかわらず水をたゝえてどこといって釣場たらざるはなしであるが、盛夏のフナは早朝か夕方の岸がよく、ミミズが断然成績をあげている。中島の皿垣、塩塚の野田、小隅、徳益で少し流れている堀に四、五寸の型が盛んに釣れている。とくに西鉄塩塚駅そばの神社前の堀では大物が厘半の釣糸をよく切るのでユダンはならぬ。春生れのハゼはもう四、五寸くらいの大きさに成長した。これを割割してテンプラにすれば一番うまいたべごろである。このごろの六百間海岸にはこれもまたテンプラにしてうまいアナゴにハダラが始末に困るほどかかりはじめた。

(上野釣人)

満潮表

八日	一〇・一五	二二・五〇
九〃	一〇・五五	二三・二〇
十〃	一一・三〇	二三・四五
十一日	〇・〇〇	二二・一〇
十二〃	〇・二〇	二二・五〇
十三〃	〇・四五	二三・四〇
十四〃	一・三五	一四・五五
十五〃	二・三〇	一七・〇五

作文上手

三川坑見学

ぼく達は児童部長の藤木さんに連れられて二十七日に三川坑見学をしました。見学をした所は全部で十三種類ばかりありました。その中で一番ぼくが興味を持ってみたのは人車と選炭場です。ワイヤー一本で十二、三輌の人車にたくさんな人を乗せて約二〇〇〇米も下ると聞いてぼくはおそろしくなりました。ワイヤーが切れた時の設備等の話しを聞き、石炭がベルトで上る所を見ました。ベルトにたくさんの石炭を乗せて、ものすごい早さで昇るのを見ると目がまわりそうです。大きい石炭、小さい石炭、粉の石炭が一緒になって上るのに、どうしてわけるのかなあ……と思って、次の案内してもらった所を見ると、一緒になった石炭をわけるのに大きな穴、中の穴小さい穴があいている。金網にゆられて大きい小さいをわけられていました。そこでは廻る機械の音がやかましく話しをしても聞えないので働いているおじさんが身振りの合図で話しながら、仕事をしていられました。ぼくは石炭を選んでいるおじさん達に石炭をもらい、電気の所で色々の話しを聞いて最後に、たくさん並んでいる安全燈を見学し三川坑の見学を終りましたが、たいへんためになる事が多く勉強になりました。

西原　六年　森田敏

らじおたいそう

七が つ二十七にちのあさからひろばでらじおたいそうがはじまりました。わたくしはうれしくて、あさはやくめがさめておきようとしたので、おかあさまがまだあんまりはやいからねていなさいといわれました。それでまたねましたがなかなかねむれませんでした。それで、またおきました。そしてこっそりひろばにいってひとりでまっていました。

濃施　一年　すみしづよ

母の声

「洋子、六時ばい、早よ起きってラジオ体操に行かやんたい。」といつも呼ばれる。私はこの母の声で目をさまし、一日の生活が始まるのです。つまり母のこの声は私の目ざまし時計なのです。昨日も今日もこの時計が私を起こしてくれるのでした。いそいで洋服を着て、みそ汗のにおいの一ぱいたゞよっている台所で、私は顔を洗らいます。顔を洗ってしまうとすぐ床をかたづけます。これも私の一つの与えられた仕事なのです。床をかたづけてしまうとも六時半近くになって、母からせきたてられ、いそいでげたをはき妹をさそってラジオ体操に行くのです。ラジオ体操広場はプロ場前で楽しいつどいの場所なのです。今朝も高須さんのおじさんが来ておられ出席をとっておられました。「お早ようございます」「お早よう」というあいさつがよく耳にはいります。金丸さんのうちのラジオをかりてラジオ体操をしているのです。今朝も早くからラジオが聞こえています。

アナウンサーの声が「今朝の明かるい楽の間の時間を終ります。NHK。」といって六時半。ラジオ体操の始まる時間です。高須さんのおじさんがいつものように皆んなの前へ出て来られ用意をされました。皆んな一つもねむそうではなく明るい表情です。回わりにはお母さん達やおとうさん達が見に来ておられ、中には「よし、私も子供にまけぬように。」と用意をしているおじさんもおられました。「全国のみなさん、会場のみなさんお早ようございます。今日第一回目の体操、元気に始めましょう。」というアナウンサーの声が聞こえ音楽が鳴り出しました。一、二、三、四、五、六、七、八と号れいに合わせて第一体操が始まった。東の空からまばゆく太陽が顔を出しました。手足の運動、せのびの運動などさまざまで、私は、あせでびっしょりになってしまいました。朝の空気はほんとにきれいで気持のよいもので全身へ伝わってゆくようです。

みんなを見まわしてみると、いつしようけんめいにやっており、私はふと、子供会の初開式のとき、いよいよ先生の声が耳元にきこえてきました。「子供会とは私が良い子供になることです。だから自分からしっかりやりなさい。」とさゝやくように感じました。

ラジオ体操があるようになってから、いや子供会が出来てから前より早起き出来るようになったのをうれしく思います。又母の目ざまし時計で早く私を起こしてくれるのです。でもこれからは、母から起こされないでも、自分一人で実行して行くと決心しました。そして長くいつまでも良い子供会が続くよう、良き子供会を築くため一しょうけんめい、協力するつもりです。

濃施　中学一年　佐藤洋子

用語解説

いま新聞、週刊紙で流行しているボナンザ・グラムについて

ボナンザグラムのボナンザはもとスペイン語で「成功」の意、鉱山用語として富鉱のことに用いられたが、転じて山師の大当りという意味。グラムは書いたもの、表の意味でボナンザグラムは「大当り表」と呼ばれている。二十九年二月アメリカのナナ通信社が考案した最新のクイズで、本場のアメリカはもちろん、わが国でも三十年の四月十五日からアサヒ・イブニング・ニュースがのせはじめて学生の間などではやり出した。解き方は、問題として出されたあちこち文字の欠けた、そして全然句読点のない文章に、正しい文字を入れ、正しく句読点をつけて完全な文章にすればよい。

懸賞付き 頭の體操

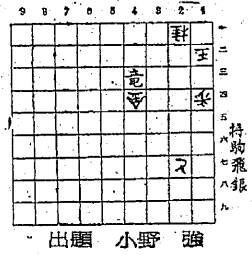
◎はヒント

一、朝晩つかれてうなるもの
◎お寺に関係あり
二、取っても取っても残らない物
◎スポーツに関係あり
三、自分で買って必ず人にやる物
◎郵便に関係あり
四、頭をたゝかれてから間に合うもの
◎金属です
五、タコが入歯をしたら何になる
◎専売品
六、立てば低く坐れば高くなるもの
◎家でやってごらん
七、来た時は開まり、来ない時は開放しているもの
◎交通関係
八、あつい時に動きまわり、さびいときにじっとしているもの
◎一寸高いね
九、三十二本の白刃の中を操で動き廻って怪我しないもの
◎動物の部分
十、君は右、僕は左と別れても所帯は別れられないもの
◎センイ製品

十問中九問当った人を正解者とし多数の場合は抽選で十名に賞品を呈します　締切は八月十日

詰将棋

【ヒント】飛車も使い方では歩と同じ。



なお今回は懸賞とします。正解者五名、うち二名には出題者より将棋の書物を進呈、残り三名には編集部より粗品を進呈します。締切は十日支部教宣部または編集部宛

感動を呼ぶ真実の記録

▼製作は監督福井文夫を中心とする日本ドキュメント・フイルム社が担当した。

広島・長崎の現地を詳しく調査の上、数十人から体験談をきいた。二カ月間の現地撮影には原爆被害者たちが快よくカメラの前に立ったが、その決意をするまでは容易でなかったようである。

撮影されたフイルム一万五千フイート。二カ月の編集、録音を終え企画以来半年、四千七百フイート全五巻として完成された。

▼去年の八月六日、原爆第一号が落されたその日、その広島で、世界二十四カ国から三千人が集まり原爆禁止世界大会が開かれた。席上、額を傷つけられた原爆娘が叫んだ。「この十年、どんなに死にたい思いをしたかわかりませんでも一私たちが死んでしまったら原爆の恐ろしさをだれが世界中に知らせることが出来るでしょう」一この訴えをきっかけとして「原爆被害者を救え」の宣言がきまり中国からの七百万円をはじめ、救援基金が世界各地から集ってきた救援運動の一つとして、原爆犠牲者のありのままの姿を伝えた長篇記録映画が企画されることになった。同じ大会の日この宣言をききながら、もう一人の原爆娘が涙を流してつぶやいた言葉「生きていてよかった!」が、その映画の題名になった。

▼映画は最初から広島・長崎のあの日のむごたらしい街(偶然にも現地で撮影され没収をまぬがれた貴重なフイルム)に始まり、今日なおこの映画の撮影中にも倒れて行く急性白血病患者の死の床、妻子をかかえて一家心中を考える長期の入院患者、迫りくる死の影を前にして母とともに十字架に祈る少女、また下半身が不随になった娘、ケロイドの痕をひたかくす女性たちの悲しい姿が生々しく写し出される。しかしそれだけに終っているのではない。盲目の孤児を収容する広島明成園の保母となって「私たちのようなものでも、不幸な子供のためにこんなに役に立つてる」と喜ぶ顔。時々起き上り編物機械の内職で弟を大学にやっている十年寝たままの姉。子供のねじれた左手をロウ細工にして原爆記念館に飾り「恐怖だけが神の御心ではない」と悟るカトリックの母親、世界の人たちが暖い手を指しのべていることを知って、その悲惨と不幸の中からどのように強く生きて行く力をとりもどしはじめたか。それこそ私たちが今日伝えたい事実である。(五十分)

映画は三部に分れ、第一部死ぬことは苦しい、第二部生きることも苦しい、第三部でも生きていてよかった、になっている。

今週の映画

○セントラル=八日より「河の女」「悪魔の島」
○大天地=八日より「金語楼のお巡さん」「裏町のお転婆娘」
○太陽館=八日より「恋すれど恋すれど物語」「恋すれど恋すれど物語」
○銀星=八日より「雑居家族」「妻の心」
○名画座=八日より「赤信号」「恐怖の土曜日」
○新世界=八日より「あさ朝ゆう朝」「恋すれど恋すれど物語」
○三鉱=「いらっしゃいませ」八日三作、建設　九日三川、港務　十日宮原　十一日万田　十二日四山　十三日渡作　十四日宮浦　十五日緑丘